

# ゆめ通信



2~3



若者と地域の方々130人が集い語り合った **地域フォーラム**

4~5

地域と大学の連携事業「産学官民協働事業」の取り組み

6

**Kids スポーツスクールの活動**

7

松大生がつくる情報発信のページ **学生ゆめ**

8

**Information**

考房「ゆめ」は社会貢献活動を行う学生を支援しています。地域の方からの「お願い」を松大生とともに創造しています!



地域づくり考房「ゆめ」キャラクター こう坊



# 若者と地域の方々130人が集い語り合った 地域フォーラム



## 学生が企画し、ファシリテートした「ワールド・カフェ」

講義「コミュニティリーダー」履修学生を中心に、講義で学んだ「コミュニティを取り巻く環境」や「今求められるリーダーの資質」を活かして、地域の課題を抽出。それに基づき各々が関心のある6テーマを設定しました。考房『ゆめ』学生プロジェクトメンバーも加わり、若者と地域の方々語り合う場を企画し、進行役となるファシリ

テーターを務めました。

各々のファシリテーターは、気軽に誰でも話し合える環境づくりのために、創意と工夫で各テーマごとに場を設定し、主体的にリードしていました。また、この催しは松本大学認定地域づくりコーディネーターにサポートしていただきました。

### 「ワールド・カフェ」とは？

話し合いを通して、様々な人々の考え方や意見を聴くことで、視野を広げ、多くの出会いと気づきを高め合い、つながり合うきっかけをつくる語らいの場を創出する手法です。

#### ①こどもが育つ 地域の環境づくり

ご近所づきあいが少なくなり、子どもの絶対数が少なくなった現在、子どもたちや保護者が集まれる場をどう作っていくかという話題が出ました。フェイスブックなどを活用して告知したり、イベントなどで子どもをお客様扱いせず、冒険をさせることが必要であるなどの意見が出ました。

畠中氏の「子どもをきっかけに多世代の交流が生まれていく」という言葉から、人と人が対話できる場を増やしていきたいと思いました。

武居 梓（三重大学工学部 平成25年度卒業）



#### ②食の安全を考える

自然・農業体験活動を通して自然農法にこだわっている人に出会い、食に対する正しい知識を持たない人が多いことを知り、今回のテーマにしました。

参加者が、食について不安に思うこと、気になること、疑問や工夫を出し合ったり、知ることができるよう、ファシリテーターとして「ワールド・カフェ」を創り上げました。

年代が違う人同士での実りある話し合いができ、良い雰囲気でした。

とても勉強になり、今後の活動に活かしていきたいです。

小池 希（観光ホスピタリティ学科4年）



#### ③異世代交流を 通じた地域づくり

「異世代交流」というテーマ通り、学生さんや他の世代との交流があり、とても新鮮でした。ワークショップの手法は、乏しい知恵を無理に絞り出し、終了時には疲れます。しかし、初めて経験した「ワールド・カフェ」ではリラックスした雰囲気の中、会話をしながら自由に意見が交わされ、楽しく意義のある「お得」な時間でした。

グループの結論として得た、「交流の場は参加した人が精神的、物質的に『お得』を持ち帰ること」はすべてに共通することと再認識しました。

北沢 誠（佐久市市民活動サポートセンター）



### 「ワールド・カフェ」の企画・運営を行った学生

- ①こどもが育つ地域の環境づくり ◎片瀬 咲季・小林 美寿希
- ②食の安全を考える ◎小池 希・赤津 志保
- ③異世代交流を通じた地域づくり ◎原 侑子・深澤 友樹
- ④公共交通の利用率を高めるために ◎金井 瑠莉子・市田 祥子
- ⑤観光と日々の暮らしの中で賑わう商店街の再生 ◎百瀬 史樹・宮下 浩美・矢崎 祥子
- ⑥聴覚障がい者との相互理解と絆づくり ◎清水 彩花・中野 未来

◎は、当日ファシリテーター



### 手作り名刺で、参加者と自由に交流 名刺交換・交流会



当日会場で作った手作り名刺を「ワールド・カフェ」で知り合った方々と交換しました。

3月2日に本学において、県内外の学生50人、大学関係者7人、NPO・自治会関係者や企業・行政職員等73人の異業種・異分野の方々130人が集い、10代から80代の方々が世代を超え語り合いました。

この「地域フォーラム」は日常生活で接点の少ない様々な分野で地域活動を進めている若者と地域の方々との出会い・語らいの場を創出し、世代を超え相互理

解を図ることを目的に、COC事業の一環として開催しました。「地域活動講演会」「ワールド・カフェ」「名刺交換・交流会」を行い、新たな関係づくりや各々の活動の進展に向け、持続可能な地域づくりへの扉を開ききっかけとなりました。

地域づくり考房『ゆめ』専任講師 福島 明美

#### ④公共交通の利用率を高めるために

「上高地線のサイクルトレイン、取扱い終了になり残念」県外では乗客を増やす効果が出ていたのに、上高地線では3月14日の終了が決定しました。

公共交通の現状や課題、解決策など、さまざまな意見が交わされ、解決策として、便数を増やす、駅・電車内を楽しめる場所にする。そして、みんなで支えるという当事者意識を創っていくなどの意見が出ました。

移動手段で困ったことを出し合いながら、実現する構想をみんなで考える機会がほしいと思いました。

斉藤 一也（長野県企画部県民協働・NPO課）



#### ⑤観光と日々の暮らしの中で賑わう商店街の再生

学生さんの積極的な発言に感激いたしました。「ワールド・カフェ」は少人数で行なうことによって意見が反映されるツールであるとは分かっていても、一緒にさせていただいた学生さんの意欲的な発言また傾聴の姿勢に驚きました。

また、共感する議題でもあったためメンバーが即プロジェクトに関する具体的な行動に落とし込むことができたのは、その場の雰囲気を作ってくれたファシリテーターのおかげです。多種多様な参加者によってイノベーションが起きているのを感じ、とても楽しい1日でした。

伊藤 優（有限会社 共和堂）



#### ⑥聴覚障がい者との相互理解と絆づくり

「ワールド・カフェ」は親しみある名称で、私も気軽に参加させていただきました。この企画は、聴覚障がい者の啓発につながる絶好の場となり、松本大学地域づくり考房『ゆめ』様には感謝しております。

内容も工夫されており、グループに分かれた際に行われた簡単なゲームのおかげで、お互いの緊張がほぐれ、リラックスして対話交流することができました。メンバーをシャッフルしながらの話し合いで、大学生とのつながりがより深くなったように感じました。今後とも続けていただけたら幸いです。本当にありがとうございました。

山岡 幸美（聴覚障がい者・松本市）



### 地域活動講演会 『まちをタノシム』

はたけなかようこう

【講師】 畠中 洋行氏（元高知市市民活動サポートセンター長）



高知の取り組みである「とさこタウン」のわくわくするお話をお聞きすることができました。涙と笑い感動の大変楽しい時間を持つことができました。「長野県でもやってみよう」という声があちこちで聞かれ、何かが生まれる予感がしたのは私だけでしょうか。

子どもたちの育ちを応援するため多くの大人に関わってもらおう仕組みを作ること、税務署、県警、消防署、新聞社、日銀、漫画家、バーテンダー協会、料亭など様々な業種の協力が得られ、社会の仕組みを遊びを通して学習する場を提供していました。

その結果起業に目覚めたり、議会の必要性に気づき議員選挙を行い税率を民主的に考えたりする子どもたちの姿に感動しました。さらに2日間の「とさこタウン」のために裏で働く多くの人たちがいることに気が付いた子どもたちは、他では経験できない多くのものを得たことでしょう。

吉国 明夫(塩尻市)

### 地域づくり活動パネル・絵画・写真展示会

#### ■懐かしの松本電鉄

・飯沼信義氏絵画展&アルピコ交通株式会社提供写真展



#### ■地域づくり実践活動紹介

- ・学生・地域活動実践者・地域づくりコーディネーターの活動
- ・地域活動共感写真展（主催：持続可能な松本平創造カンパニー わおん♪・やまがた風土考房）



# 地域と大学の連携事業「産学官民協働事業」の

地域づくり考房『ゆめ』の産学官民協働事業は、地域の課題解決にむけて学生と行政・企業・自治会・市民活動団体等、地域の様々な組織・機関の方々が協働して取り組む地域活動を考房『ゆめ』専任講師を核として松本大学認定地域づくりコーディネーターや地域の方々が調整役となり、展開しています。

地域からの呼びかけに学生が応じ取り組む事業、学生の呼びかけに地域が協働して取り組む事業、地域の課題発見からともに取り組む事業といった3つの形で実施しています。最初に関係者が集い、協働する意義や各々の役割を明確にし、両者合意のもとに企画書を作成して事業にあたります。そのことで関係が明確化し、有意義な活動が展開されます。今号では、NPO・企業発の学生との協働事業と、学生発の行政との協働事業を紹介します。

NPO発

## 持続可能な松本平創造カンパニー わおん♪×考房『ゆめ』

地域の課題を学生の活動から伝える

### しおじり.iBC 新番組「じもとーく」

わおん♪では、地域課題に取り組む活動を多くの市民に知ってもらいたいという想いから情報誌を発行してきました。また、Ustreamの登場で誰でも気軽に番組が作れるようになり、地域で頑張っている人を紹介する番組配信を毎月1回続けてきました。

3月からは、さまざまな地域課題に取り組んでいる**松本大学地域づくり考房『ゆめ』**と一緒に、地域課題に焦点をあてた新番組作りをスタートしました。

30分程度の生放送です。地域にどんな課題があるかを学生に紹介していただき、その課題について進行役と



学生・コメンテーターとで深めていきます。

地域課題を松本平でどのように取り組んでいるか、全国にPRするきっかけになることを目指していきたいと思

持続可能な松本平創造カンパニー わおん♪代表 山田 勇



第1回は、松本BBS会の谷内さんと池田さんが登壇

■「じもとーく」を見るには  
<http://www.ustream.tv/channel/jimotalk>

企業発

## (有)メディアゴーゴー×学生プロジェクト「信濃X」&考房『ゆめ』学生スタッフ

学生が開発したアプリ掲載

### まつもとくるる

地元在住者にも観光客にも役に立つガイド誌として出版していた「まつもとタウンマップ」。誌面を一新する「まつもとくるる」の発行準備にあたり、**信濃Xさん**たちの取り組みを知って、早速アプローチしました。

「産学官の連携を図って地域に出版分野で貢献したい」という私たちの方向性とも合致するものでした。「まつもとくるる」には特に利用頻度が高いと思われる「駐車場マップ」と「トイレマップ」をQRコードと共に掲載予定ですが、学生さんたちが開発したアプリを使ってリアルタイムにスマートフォン等で検索、利用できることで間違いなく利便性が高まるはず。そういう意味でも信濃Xさんとのこのコラボ企画には大変感謝しております。

(有)メディアゴーゴー 代表取締役 宮田 政幸



「まつもとくるる」に  
リニューアルして  
4月末日発行予定

考房『ゆめ』コーナー開設

### 月刊イクジイまつもと

「月刊イクジイまつもと」イク★ナビコーナーに考房『ゆめ』インフォメーションのスペースが登場！

考房『ゆめ』学生スタッフが担当し、学生企画の地域活動紹介や親子で楽しめる運動やあそび・食等のお得な情報を掲載していきます。ぜひご覧ください。



# 取り組み

学生発

## 学生プロジェクト「松本大学キッズスポーツスクール」×「お元気ライフぷろっぷす」×新村地区福祉ひろば

### ふれあい運動あそび教室 3月8日

私たち「松本大学キッズスポーツスクール」と「お元気ライフぷろっぷす」は幅広い世代の人たちが交流できる場を作るため、新村地区福祉ひろばの皆さんに協力していただき、「ふれあい運動あそび教室」を開催しました。

シニア世代の方たちに、子どもたちとふれあうことで元気になって欲しい！という思いから今回の教室を企画しました。



松本大学キッズスポーツスクール  
運動好きな子どもたちを育む



お元気ライフぷろっぷす  
シニア世代のいきいき生活を応援する



参加者の方より

- いつもは別々に暮らしている孫とこのような場で、久しぶりに遊べて元気を貰いました。
- 自分の子や孫が大きくなり、小さな子どもと遊ぶ機会がなくなっていました。もともと子どもが大好きなので、今日はとても楽しかったです。

行政より

今回の企画には 51 人の参加があり、会場は熱気でいっぱい。全体で輪になって挑戦した「なべなべ底抜け」も大成功。「人間椅子取りゲーム」もユニークで盛り上がりました。学生さんのリードも適切で、参加者は楽しい交流の時間を過ごすことができました。

新村地区福祉ひろば 宮下 幸江

学生発

## 学生プロジェクト「ヘルシーメニュー」×「築夢屋」×新村地区福祉ひろば

### ふれあいパーティー 3月6日

2つの学生プロジェクトによる収益金を使って「ヘルシーメニュー」のメンバーが地元の農産物でメニューを考案し、調理しました。活動を支えてくださった地域の方々への感謝の気持ちを込めた食事会と交流会を開催しました。

- 「ヘルシーメニュー」は、新村のくれき野やさいクラブ・新村直売所・第2コムハウスの皆さんと新村産の野菜販売と体にやさしいメニューや商品の開発を行ってきました。
- 「築夢屋」は、地元の安心・安全な農産加工品を新村の方々にお届けしてきました。



ちらしずし  
新村産の菜花と切り干し大根を使用



小松菜と花豆のブラウニー  
野菜の風味と花豆の甘味がマッチ

メニュー

- ちらしずし
- アボカドと豚ひき肉の春巻き
- 長芋と梅の春巻き
- 串揚げ
- 鶏ハム
- ポテトサラダ
- 菜花と玉ねぎのサラダ
- 小松菜と花豆のブラウニー
- 具沢山スープ
- 2色のパパロア



学生より

- 参加者の方から「おいしかったよ」の言葉をいただけたことは本当に嬉しく、今後もこのような機会を多く持ちたい！がんばりたい！という思いへとつながりました。  
西村 英恵（ヘルシーメニュー）
- ヘルシーメニューのおいしい料理を食べ、クイズ大会では盛り上がり、地域の方に楽しんでいただけたのではないかと考えています。今後も地域の皆様と様々な活動を通して交流していけたら良いと思っています。  
今井 信繁（築夢屋）



# Kids スポーツスクール



私たち「松本大学キッズスポーツスクール」は、子どもたちに運動の楽しさを伝え、運動を始めるきっかけづくりとなることを目的として活動しています。月に2回、3～6歳児を対象に、身近な新聞紙やタオルを使った運動やボール運動、バランス運動など毎回テーマに沿った運動あそび教室を行っています。



## 今年の活動



辰野の通学合宿

子どもたちの生活のお手伝いや私たちが企画したレクリエーションを通して交流しました。



松本市モビリティマネジメント事業

「わくわくのりものラリー」を担当し、4つのミッションポイントでは日ごとの運動あそびを活かし企画し、参加した子どもたちとふれあいました。

## 参加者の声

### キッズスポーツスクールに参加して

キッズスポーツスクールのチラシを初めて目にしたのは、下の子と児童館へ遊びに行った時でした。

土・日は主人が仕事のためにどこにも連れて行ってあげられない環境だったので、思い切って参加してみることにしました。当日は、下の子の面倒も見てもらい、2人ともとても楽しそうでした。母親と違って思いきり遊んでくれるお兄さん・お姉さんたち、そして最後にやる「しっぽ取りゲーム」はとても魅力的だったようです。

今後も親子で楽しく参加できる素敵な企画を楽しみにしています。

堀内 かほりさん(母)・桜彩ちゃん(4歳)・陽生君(2歳)



## 依頼者の声

### 子どもたちの笑顔を増やすために

子どもたちは、キッズスポーツスクールの皆さんが来てくれるのを毎回楽しみにしています。普段関わることのない大学生とのふれあいを心から楽しみ、帰り際には「お兄さんお姉さんたちまた来てね!」という声が聞こえてきます。皆さんが企画される“子どもたちが楽しんで運動できるような遊び”は、職員の私たちもとても勉強になっています。

今後も学生さんに来ていただける機会を増やしていければと思っています。子どもたちの笑顔と共に増やしていけるよう頑張りますよ!

山下 晴佳さん(鎌田児童センター児童厚生員)



## 2013年 活動報告

1. キッズスポーツスクール(大学内で月2回開催) 17回/年
2. 松本市  
モビリティマネジメント事業実行委員として参加 11/16
3. 鎌田児童センター 出前スポーツスクール開催 5回/年
4. 辰野通学合宿スタッフとして参加 1/18・1/19
5. 新村地区福祉ひろばとの合同企画  
“ふれあい運動あそび教室”開催 3/8

## これからのキッズ

### 1人ひとりの発達に合った指導を提供

私は、キッズスポーツスクールは単に運動する場であるだけではなく、子どもたちが多くのことを学ぶ場となって欲しいと考え活動しています。最初はコミュニケーションが苦手だった子が、参加回数を重ねることで、少しずつ皆の輪に入れるようになり、自ら楽しめるようになる姿を見れたことは、自分たちのやりがいにもつながりました。最近では参加する子どもたちの年齢幅が広がってきたので、今後は一人ひとりに合った指導ができるように努力していきたいです。

青木 勇樹(観光ホスピタリティ学科3年)

### 地域から求められる場所に!

子どもたちと楽しく遊びたいという思いから始めた活動です。キッズを通して学外活動などにも参加し、さまざまな方々と関わっていくうちに、子どもが集う場が社会や地域から求められていることを実感しました。この経験から、“私もキッズスポーツスクールを地域から求められる場にしたい”と思うようになりました。まずは体を動かす楽しさや大切さを地域の方々に伝え、私たちの活動を知ってもらい、いつかキッズスポーツスクールが地域から求められる場となれば良いと思っています。

小林 美寿希(観光ホスピタリティ学科3年)

楽しさいっぱい!

# 充実の情報たっぷりお届け!

私たちが1年かけて制作してきた学生向けの冊子「Volere!!」第3号がついに完成しました!

「Volere」とはイタリア語で「～したい」という意味です。この冊子を読むことで、松大生が地域や大学への関心を深め、「～したい」と思ってもらい、充実した学生生活を送ってほしいと思い作りました。

今回の Volere!! では、初の試みとして大学生協さんと合同のイベントも考えました! (\*^v^\*)

その他、学生スナップや新村・松本のお得な情報などが盛りだくさんで充実した内容となっています!!



いよいよ4月、新しいスタートを切るのにぴったりな季節になりました。今回は、そんな季節に役立つ情報満載の冊子「Volere!!」について、私たちがゆめ通信編集委員について紹介します!

## 松大生がつくる情報発信のページ 学生ゆめ



### 一緒にやってみよう! あなたも入りませんか?

ゆめ通信編集委員

地域づくり考房『ゆめ』を拠点に活動しているプロジェクトです。情報誌や冊子作りを通して学生の目線で情報発信をしながら、地域と大学をつなぐことを目的として活動しています。

#### 学んだこと、やりがい

自分の体験や知識を文字で表現することの難しさ、みんなで協力し合って1つのモノを完成させる達成感を知りました。多くの方に自分たちの作ったものを読んでいただき、その感想を言ってもらえることで「次も頑張ろう!!」という気持ちになります。とても有意義な活動ができていると思います。

#### 今後の抱負

取材を通して地域や大学について知ったことを情報誌として発信することで、地域と大学の距離が縮まるようになれば良いと思います。そして、学生や地域の方がお互いの活動を知り、さらに新たな活動が生まれるきっかけとなれば嬉しいです。今後も見やすく分かり易い、情報誌を作っていきます。栗原 楓 (松商短期大学部2年)

#### 主な活動

- 地域や大学での活動を紹介する「ゆめ通信」の「学生ゆめ」のページの制作。
- 地域と学生をつなぎ「～したい」と思ってもらえるような冊子「Volere!!」を制作・発行。

## 学生スタッフ企画 考房『ゆめ』の1年

### 4月 ゆめカフェ

考房『ゆめ』のプロジェクトを新入生に紹介・勧誘する企画です! プロジェクトメンバーに直接質問ができる機会なので、学生の皆さんはぜひ気軽に参加してみてください★

ゆめカフェ



### 8月 夏の研修会&BBQ

前期の活動の反省と後期の活動計画を作ります。他のプロジェクトの発表を参考にできます。BBQでは、他プロジェクトメンバーとの交流ができます♡



▲夏の研修会&BBQ

### 1月 新年会

プロジェクトごとに出し物をしたり、他のプロジェクトがどんな活動をしているのか知ることのできる機会です。ゲームやバイキング形式の食事をしながら交流しています★

### 3月 研修会&卒業生を送る会

各プロジェクト1年間の活動の振り返りと来年度の計画を作ります。平成25年度は、お世話になった卒業生の送別会で、手作りカードを贈り、ピンゴと食事会で盛り上がりました!

#### ▼学生スタッフとは…

- 学生の活動相談
- 新聞からプロジェクトの活動や参考記事など情報を収集・発信
- 学生プロジェクトの研修会・交流会などの企画運営等を行っています。



地域づくり考房「ゆめ」のこう坊

### 学生スタッフの先輩にインタビュー!



1月に行われた新年会について、どんな想いで企画を作っているのか聞いてみました!!

今年は各プロジェクトと一緒に作り上げる新年会にしようと考え企画しました。出し物を通して、他のプロジェクトの活動を知ることができました。

新年会当日は、プロジェクト毎の楽しい企画が満載で、笑いが絶えない会になり本当によかったです。

学生スタッフ 村松 実可子さん

※申し込み・問い合わせは地域づくり考房『ゆめ』まで

スタッフ  
募集

## 遊休農地再生・交流プロジェクト (にほねっと主催)

遊休・荒廃農地の再生作業を障がいを持った方や地元農家さんたちと一緒にいき、作物の栽培や販売、交流イベントに関わっていただける方を募集します。

障がい者の就労支援の可能性を見出し、障がい者・農家・企業・住民(高齢者・子ども)の方たちとの交流を通して、つながりの輪を広げることが目的としています。

- 日 時:平成26年5月～
- 場 所:松本市波田、安曇、奈川地区

スタッフ  
募集

## すすき川花火大会運営

松本市筑摩で開催されるすすき川花火大会のスタッフを募集します。花火大会とのコラボ企画の立案と運用、花火大会広報活動への参画、当日の大会運営です。

花火大会当日に向けて事務局と一緒に楽しく企画・運営等ができる学生を求めます。

- 日 時:平成26年5月～
- 活動場所:松本市内(企画検討は大学内)



スタッフ  
募集

## 伝統文化押野獅子舞復活 事業プロジェクト

安曇野市明科押野地区において唯一の伝統芸能である祭囃子・獅子舞の復活を目指し、演奏や演舞するメンバーを募集します。9月の八幡宮秋祭りや11月の押野文化祭での発表を目標とします。

- 日 時:平成26年5月～
- 場 所:明科上押野営農センター

## つぶやき

私は、約4年間キッズスポーツスクールのプロジェクトメンバーとして活動してきました。その中でプロジェクトの「代表」といった貴重な体験もさせていただきました。キッズスポーツ以外にも考房『ゆめ』の活動に参加し、地域住民や行政・企業・他大学の方と接する機会を多く得ることもできました。そこから指導力やコミュニケーション力・企画力・プレゼン能力など、多くの力を身に付けることができました。同時に地域の方々に関わることの難しさや大変さも学ぶことができました。活動で学んで得たことは、社会人になっても活かしていきたいと思えます。『ゆめ』の教職員の方々や地域の皆さま、成長できる機会を与えていただき、本当に感謝しております。ありがとうございました。

深澤 友樹 (スポーツ健康学科 平成25年度卒業)

# 松本大学と地域をつなぐ イベント情報

スタッフ  
募集

## 岩崎神社例大祭撮影・編集

松本市新村にある岩崎神社で行われる例大祭の様子を撮影・編集できるスタッフを募集します。全国的にも珍しい「川狩りの神事」など史実に則って執り行われる祭事を映像に記録し、地域の財産として次代に継承することを目的としています。

- 日 時:平成26年4月28日(月)・29日(火)
- 場 所:新村岩崎神社 ほか

出版

## 楽しく実践する12のヒント 「未来を拓く地域づくり」が完成

考房『ゆめ』専任講師である福島明美が、地域づくりコーディネーター26年の実践に基づく知識と手法を1冊にまとめました。様々な困難を解決し、ぬくもりのある地域づくりを進めるヒントが満載です。ぜひご活用ください。

収益金は、一般社団法人F-WORLDが行う放射能のため屋外で遊べない子どもたちの施設「福島インドアパーク」建設プロジェクトに寄付致します。

内  
容

- 第1章 ● みんなで進める地域づくり
- 第2章 ● 地域づくりが楽しくなる3つの物語
- 第3章 ● 地域づくりに必要な12の問い
- 第4章 ● 地域づくりから学校を開く

- 著 者:福島 明美  
《A5判184ページ》
- 定 価:1,600円+税

### 【取り扱い先】

- 松本大学地域づくり考房『ゆめ』
- 全国書店 ほか



お問い合わせ、ご意見等は下記へご連絡ください。



## 松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1  
松本大学 7号館 2F  
TEL: 0263-48-7213 (直通)  
FAX: 0263-48-7216 (直通)  
E-mail: community@matsu.ac.jp  
URL: [http://www.matsu.ac.jp/matsumoto\\_u/yume/](http://www.matsu.ac.jp/matsumoto_u/yume/)

※開館日時: 月～金 9:30～18:30  
土 9:00～16:00